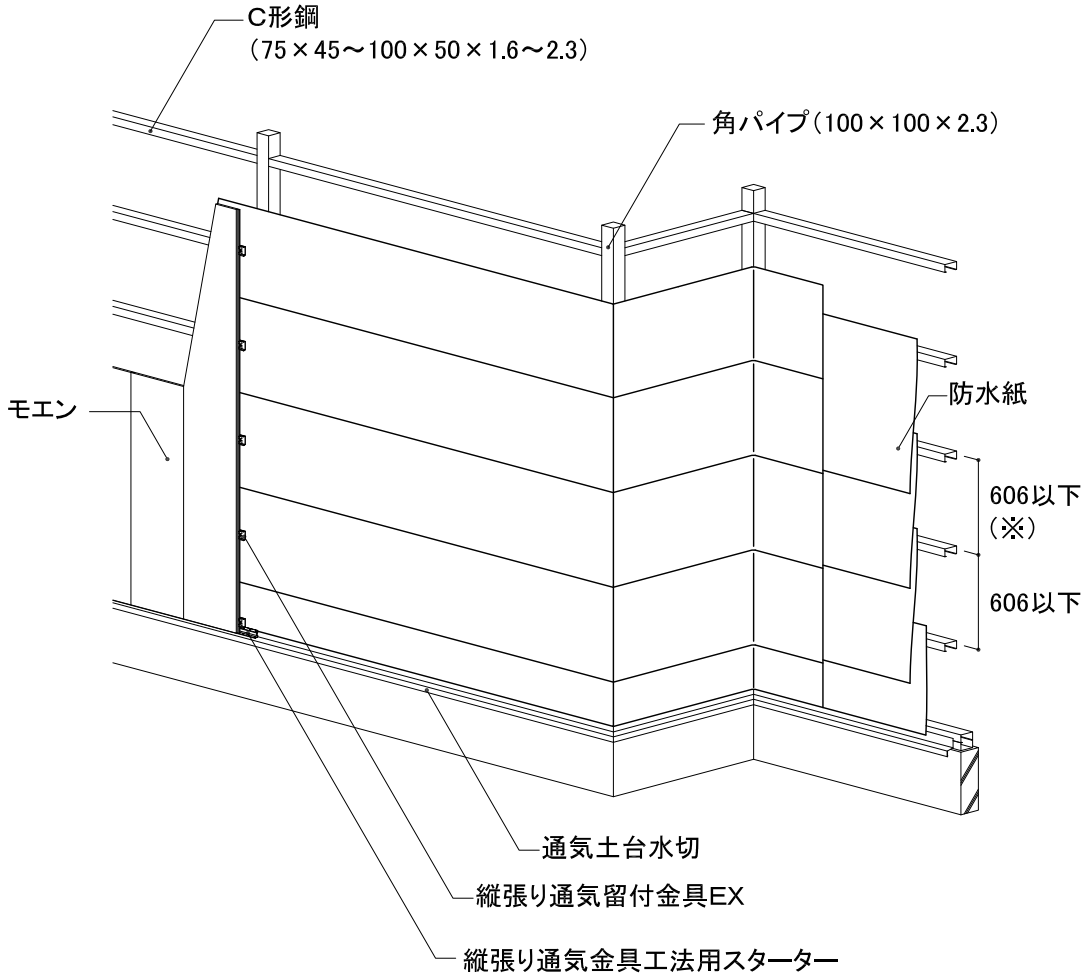
3－2　各部の納まり詳細図

鉄骨下地	縦張り	通気金具施工

1）基本構成図・下地組図	1．5尺×10尺

●通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●C形鋼は75×45～100×50㎜、厚み1．6～2．3㎜を606㎜以下の間隔で横に組みます。（※）
●C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル（ねこ）を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
●C形鋼は下向きに使用します。
●縦張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、250㎜以下の間隔で留め付けます。
●土台部、出隅部、入隅部、上下接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
●モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分に専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。
※防火構造、45分準耐火構造は@610㎜以下となります。また、防火構造および準耐火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2．3㎜とします。



小口処理　モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。